

cado

取扱説明書

Deodorizing Sanitizer

PG-E 620

重要

このたびは、カドー除菌消臭器「PG-E620」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

CLUB CADO ご愛用者登録のご案内

お買い上げ製品をご登録いただくと、製品に関する充実したサポートや
会員限定のお得なセール情報などが届きます
ぜひこの機会にご登録ください。

cado.com

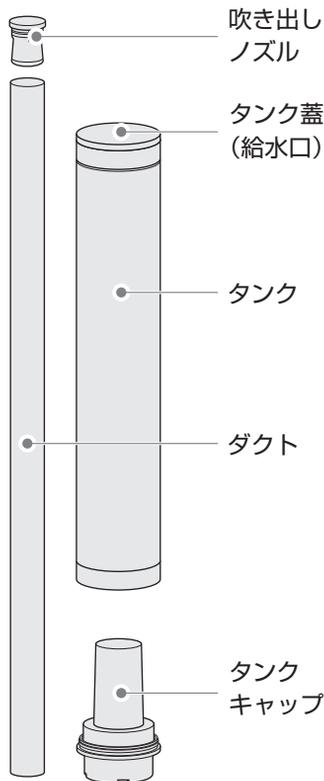
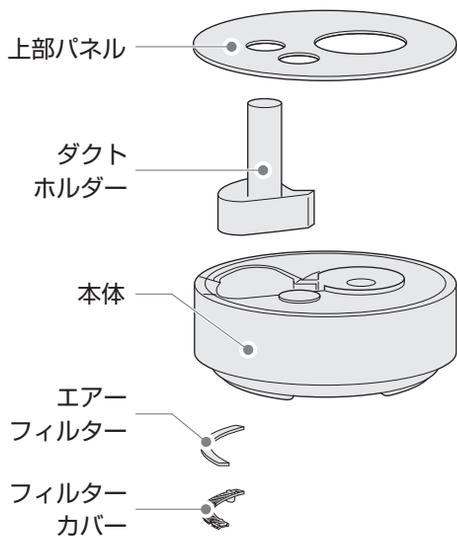
cado

目次

各部の名前	3	お手入れのしかた.....	14
本体上部(内部).....	4	タンクキャップの取り外し方法.....	22
本体底部.....	4	ピースガード ^{※1} について.....	23
本体の組み立て.....	5	長期間使用しない場合.....	23
タンクにピースガードを入れる	8	安全機能について.....	24
設置について	9	ダクトホルダー検出.....	24
使いかた	10	異常水位検出.....	24
操作パネル	10	本体動作異常検出.....	24
運転を開始する.....	10	故障かな?	25
オートモード.....	11	仕様.....	28
間欠モード	11		
連続モード	11		
タイマー運転.....	11		
湿度の状態(オートモード)	12		
タンク下部インジケーター			
(間欠モード、連続モード).....	12		
給水のめやす	13		
減光機能	13		

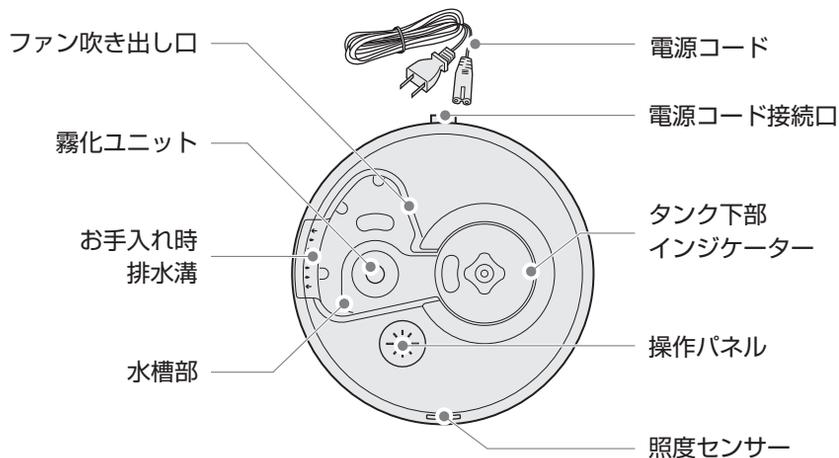
※1 除菌・消臭剤ピースガードは株式会社
ピースガード社の登録商標です。

各部の名前

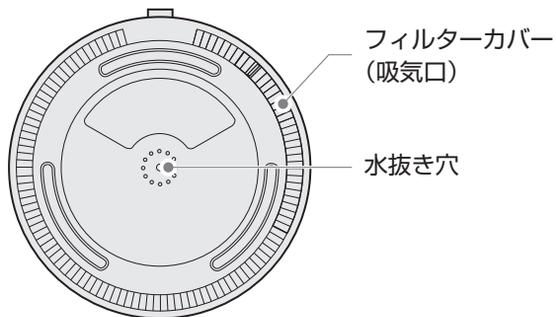


付属のタンクキャップには水の硬度を下げる機能はありません。

本体上部(内部)

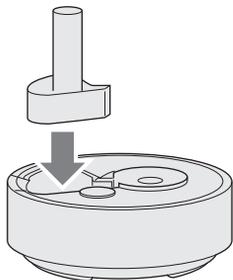


本体底部

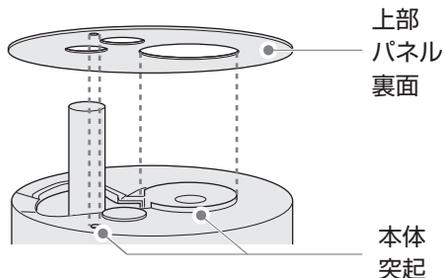
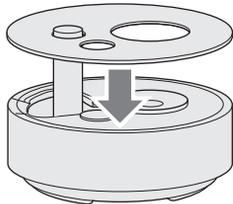


本体の組み立て

1. ダクトホルダーを矢印の方向に取り付けます。

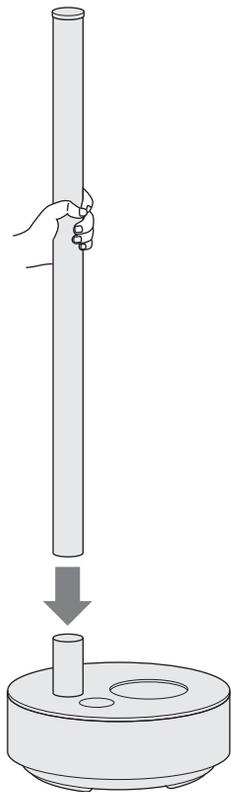


2. 上部パネルをダクトホルダーに通したあと、本体にある突起との位置を合わせながら、上部パネルを取り付けます。

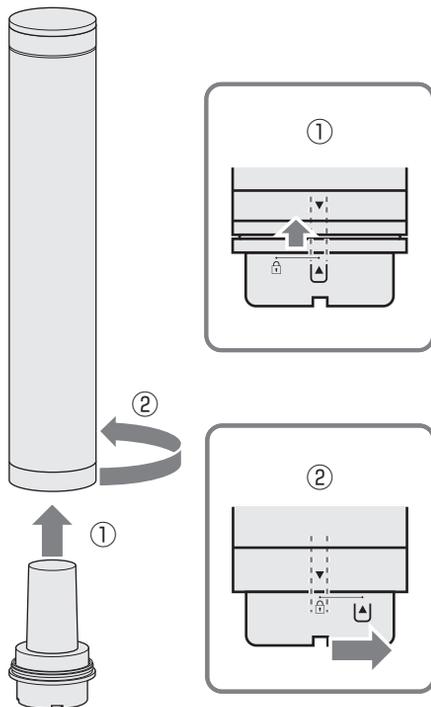


位置がずれたまま取り付けを行うと、操作ボタン等が傷つくおそれがあります。

3. 吹き出しノズルを上に向け、ダクトを取り付けます。



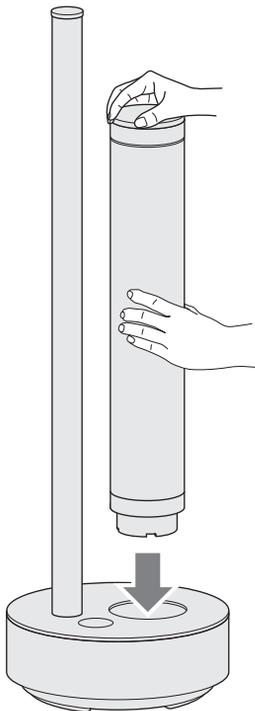
4. タンクキャップをタンクに差し込み、ロック位置まで回して取り付けます。



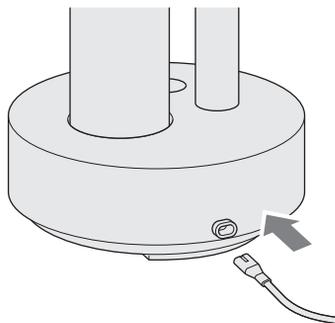
! タンクキャップをしっかり取り付けないと水漏れの原因となります。

5. タンクを本体の奥までゆっくり差し込みます。

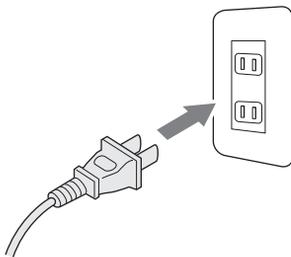
 タンクが奥まで差し込まれていないと水槽部への給水不良や水漏れの原因となります。



6. 電源コードを電源コード接続口に接続します。



7. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
電源が正常に接続されると、操作パネル、タンク下部インジケータのすべてが約2秒間点灯します。



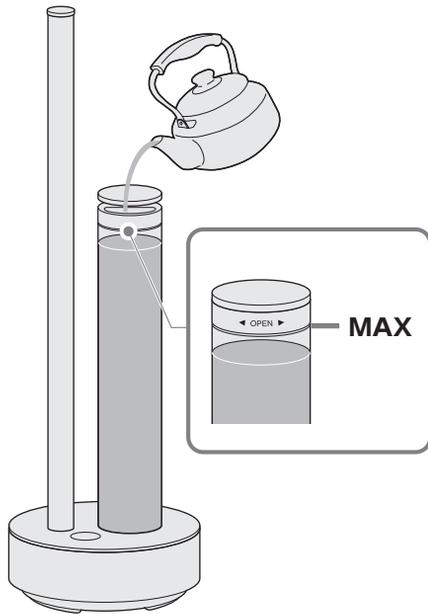
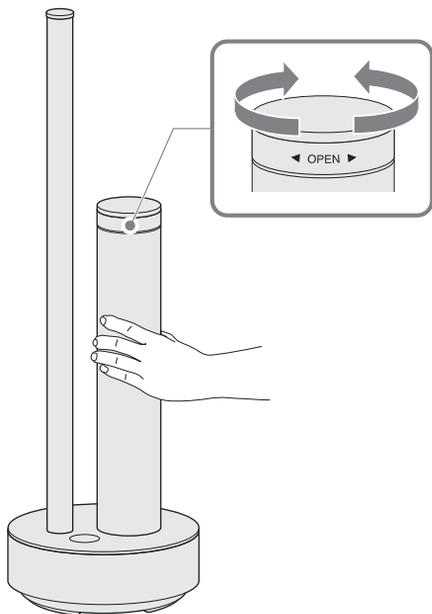
タンクにピースガードを入れる



- お好みに合わせて、ピースガードを水道水で薄めてご使用ください。1 倍(原液)から約 10 倍(原液 1 に対して水道水 9)までの希釈を推奨いたします。
- 水道水以外は使用できません。汲み置きした水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は雑菌繁殖の原因になります。また、純水や蒸留水を使用すると水位検出が正常にできず、水漏れの原因となります。
- 定期的にお手入れを行ってください。(週 1 回以上を推奨)

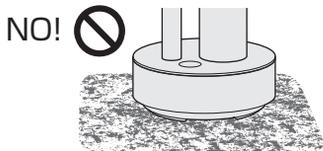
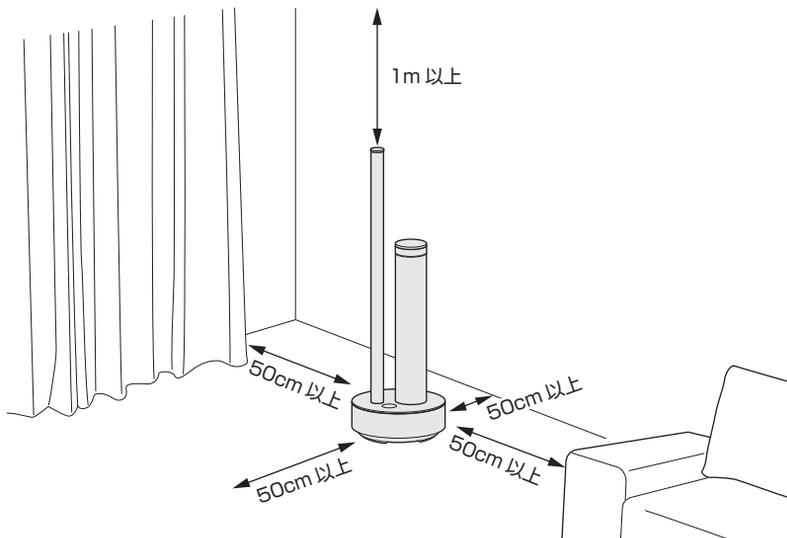
1. タンクを抑えながら、タンク上部の蓋を左右どちらかにあけます。

2. やかん等でタンクに水、ピースガードの順に入れ、蓋を閉じます。

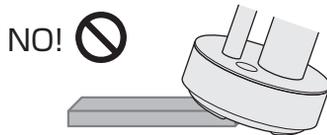


設置について

- ❗ 本機の性能を十分に発揮するために壁や周囲から適切な距離をあけて設置してください。特に吹き出しノズルの上部は 1m 以上あけてください。



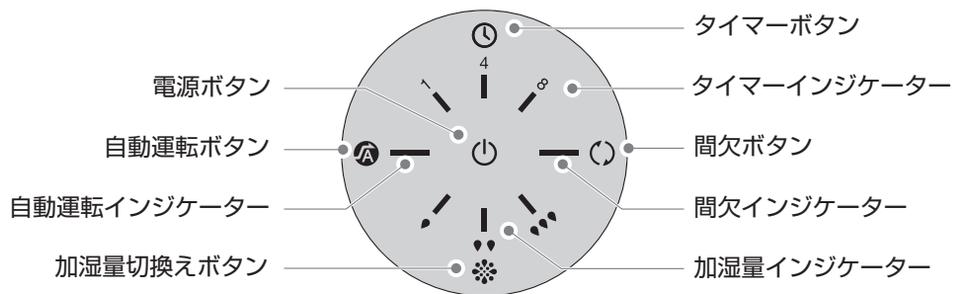
毛足の長いじゅうたんの上で使用しないでください。本機が傾いたり、吸気口がふさがり故障の原因となります。



傾斜のある場所や不安定な場所、高い場所で使用しないでください。落下や転倒、誤動作の危険性があります。

使いかた

操作パネル



運転を開始する

電源ボタンを押します。🔌

タンクから給水を開始します。本体の水槽部が適切な水位になると間欠モード () (間欠中 ♡ ♡) で運転を開始します。

運転中に電源ボタンを押すとインジケータが消灯し、運転が停止します。



初めてご使用になる場合や本体を清掃したあとなど、本体の水槽部に水が無い状態から運転する場合は、給水に時間がかかるため運転開始までに時間がかかります。

(タンクの水量が少ない場合は 10 分程度かかることがあります。)

オートモード

運転中に自動運転ボタンを押します。 

お部屋の温度、湿度を検出し、自動で加湿量を切り替えて運転します。

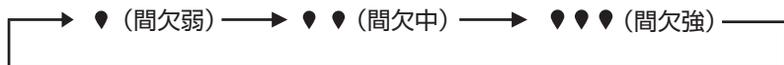
間欠モード

運転中に間欠ボタンを押します。 

お部屋の湿度に関係なく、間欠加湿運転を行います。

加湿量切換えボタンを押すことで、お好みの間欠加湿量に設定できます。 

加湿量インジケータは下記の順に変化します。



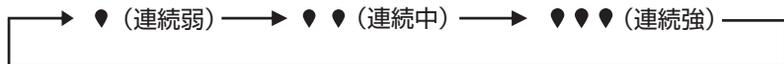
連続モード

運転中に自動運転ボタン  を押したあと、続けて加湿量切換えボタンを押します。 

加湿量インジケータのみが点灯し、お部屋の湿度に関係なく、連続加湿運転を行います。

加湿量切換えボタンを押すことで、お好みの連続加湿量に設定できます。

加湿量インジケータは下記の順に変化します。



タイマー運転

運転中にタイマーボタンを押します。 

指定した時間が経過すると自動で電源オフします。

タイマー時間(インジケータ)は下記の順に変化します。



湿度の状態(オートモード)

オートモード運転中は、お部屋の湿度に合わせて、タンク下部インジケーターの色が変化します。お部屋の環境・設置場所によっては実際の湿度とずれる場合があります。

インジケーター色	現在の湿度
黄色	約 30% 以下
緑	約 30~50%
青	約 50% 以上
赤	湿度に関係なく給水をお知らせ

タンク下部インジケーター(間欠モード、連続モード)

間欠モード運転中および連続モード運転中は、お部屋の湿度に関係なく、下記の通りタンク下部インジケーターが点灯します。

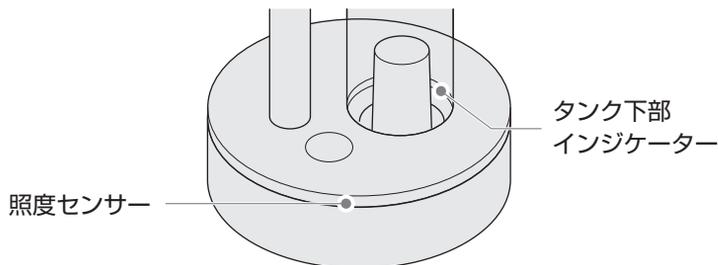
インジケーター色	運転モード
水色	間欠モード、連続モード
赤	給水をお知らせ

給水のめやす

運転中にタンク内の水が少なくなると、警告音に合わせてタンク下部インジケーターが赤色に点滅してお知らせします。「タンクにピースガードを入れる」⇒ p.8 に従って給水してください。

減光機能

本体水槽部の端にある照度センサーで周囲の明るさを感知します。
周囲が暗くなると、点灯しているタンク下部インジケーターが暗くなります。

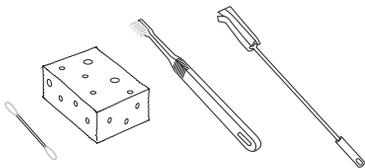


アロマオイルや、他社製の除菌・消臭剤は絶対に使用しないでください。
タンクや水槽部の変色、変形、割れ(水漏れ)の原因となります。
また、故障発生時にメーカー保証対象外になることがあります。

お手入れのしかた

- お手入れをせずに使用を続けると、水アカなどの汚れが付着して取れにくくなったり、カビや雑菌が繁殖する原因となります。定期的にお手入れを行ってください。(週 1 回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れ等による故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販の綿棒やスポンジ、やわらかいブラシ、ダクト内部清掃用に柄の長いブラシを用意すると便利です。



しつこい汚れには中性洗剤を溶かした洗浄液を使用してください。

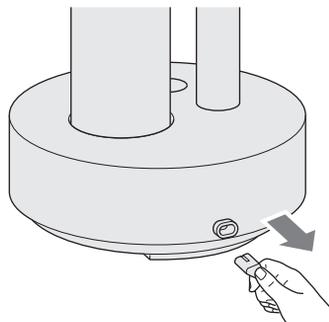
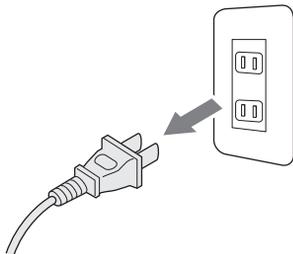


- 中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。
- すすぎが不十分だとニオイや故障の原因となるため、洗浄後は水道水で洗浄液を十分に洗い流してください。

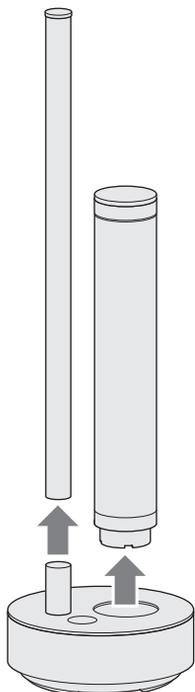


硬いブラシを使用すると霧化ユニットが傷つき、故障の原因となります。

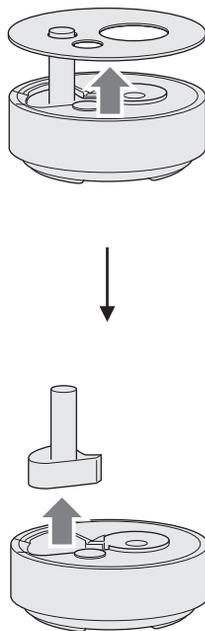
1. 本体の電源をオフにして電源コードを抜きます。



2. タンクとダクトを取り外します。



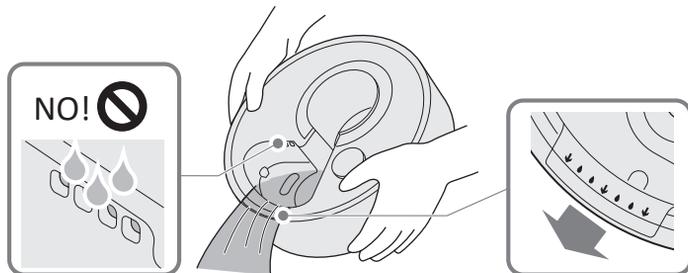
3. 上部パネル、ダクトホルダーを取り外します。



4. 排水方向の矢印に合わせてお手入れ時排水溝から水槽部に残った水を捨ててください。



- 水槽の排水方向は必ず守ってください。
- ファン吹き出し口に水が入らないようご注意ください。

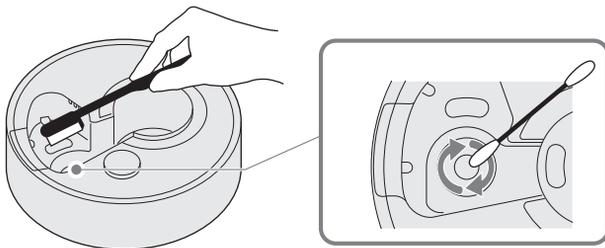


5. スポンジ等で水槽部を水洗いしてください。

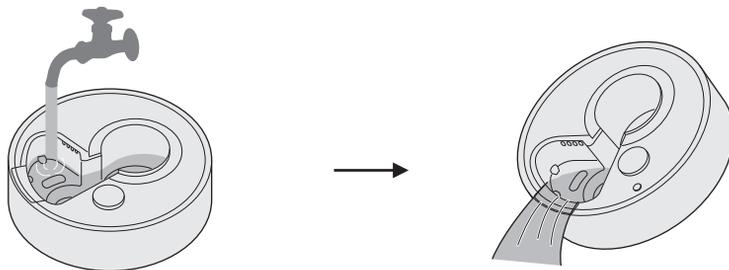
水槽部の汚れはスポンジまたは、やわらかいブラシで落とします。



霧化ユニットは精密部ですので綿棒でやさしく表面の汚れを落としてください。

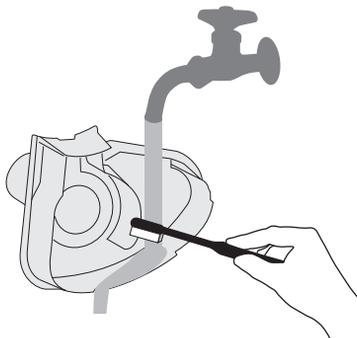


6. 水槽部を水道水でよくすすいだあと水を捨てます。
一度できれいににならない場合は、何回か繰り返して汚れを取り除いてください。



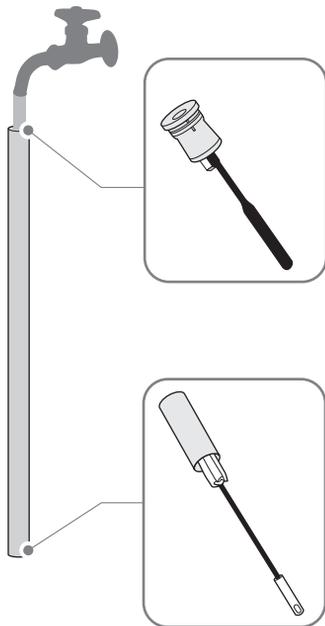
- ❗
- 水槽の排水方向は必ず守ってください。
 - ファン吹き出し口に水が入らないようご注意ください。

7. ダクトホルダーをスポンジや、やわらかいブラシなどで洗い、汚れを落とします。

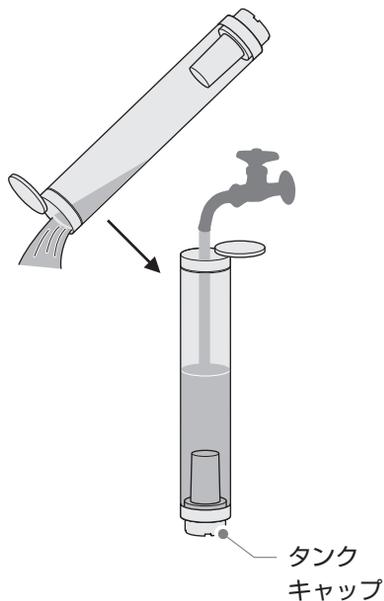


8. ダクトの内側を柄の長いブラシなどで洗い
汚れを落とします。

吹き出しノズルはやわらかいブラシなどで
洗います。

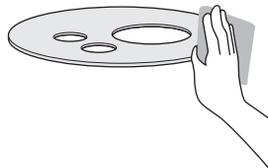


9. 残っているタンクの水を捨て、水道水で
タンクの中を何度かすすぎます。

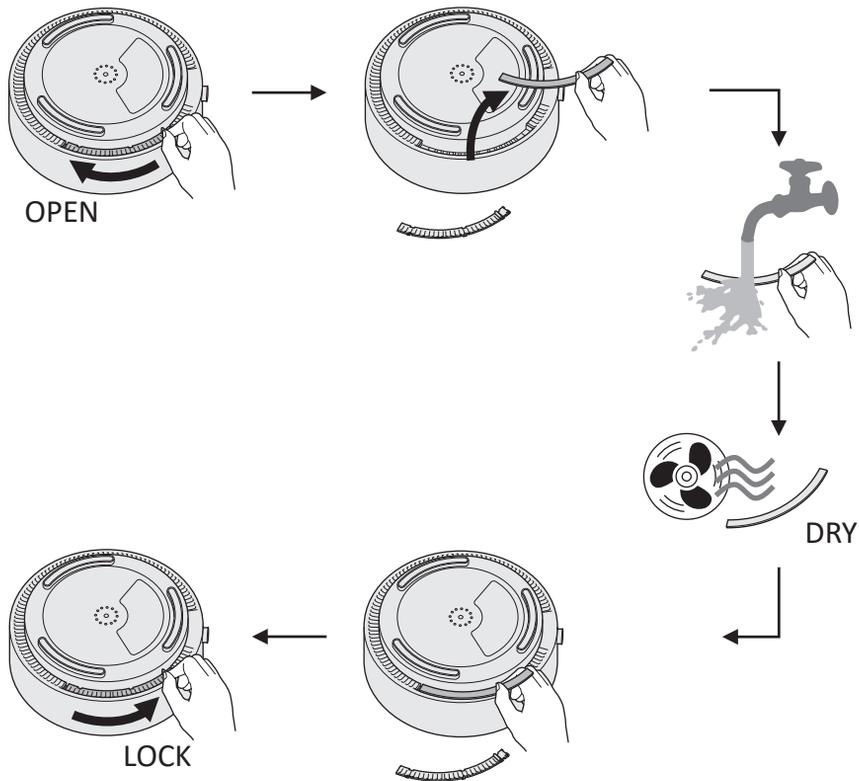


- !** タンク内の汚れがひどい場合は、タンク
キャップを外し、スポンジなどで洗って
ください。

10. 本体、上部パネル、ダクトホルダー、ダクト、タンクを乾いた布で拭き、汚れや水気をすべて落とします。

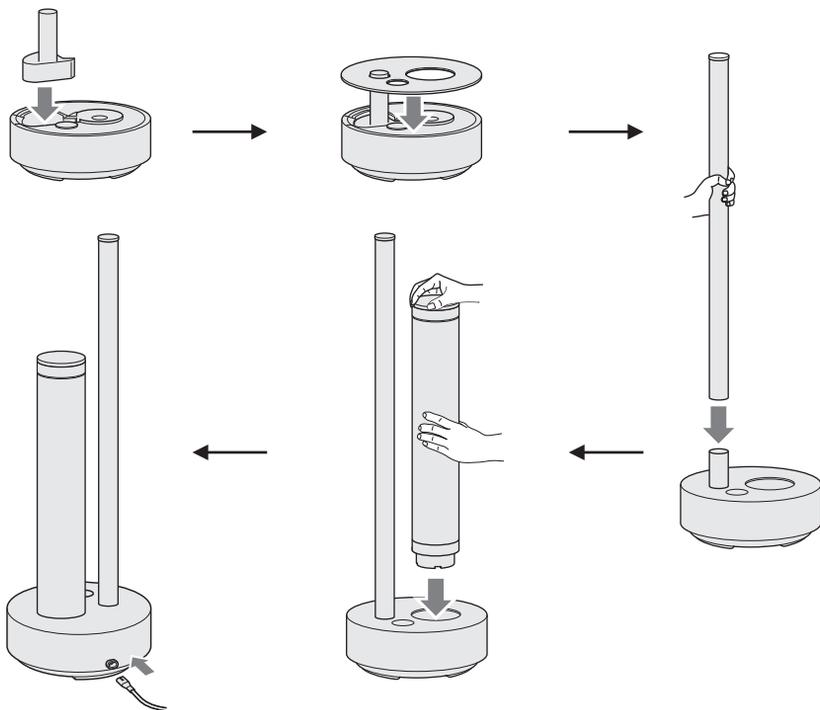


11. 本体底部のエアフィルターを取り出し水洗いします。
洗ったあとは水を切り十分に乾燥させて、再度取り付けます。



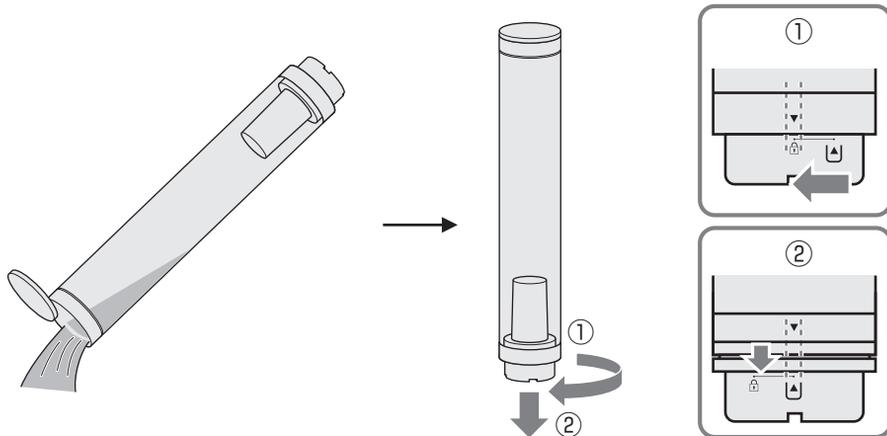
12. 再度組み立てます。

組み立ての手順は「本体の組み立て」⇒ p.5 をご参照ください。

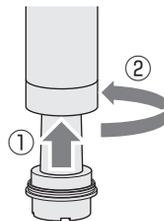


タンクキャップの取り外し方法

1. タンクに残っている水を捨て、タンクキャップを外します。



2. 再度タンクキャップを取り付ける場合は、「本体の組み立て」⇒ p.5 をご参照ください。



ピーズガードについて

- ピーズガードの保管や使用上の注意に関しては、ピーズガード液剤に添付の「使用上の注意」をご参照ください。
- ピーズガードの性能を十分に発揮するため、付属のタンクキャップには水道水の硬度を下げるフィルター機能はありません。ご使用になられる水道水によっては、お部屋の床や壁面、家電製品や家具などに白い粉が付着する場合があります。これらは水道水に含まれるミネラル成分であるため、人体に影響はございませんが、設置場所には十分ご注意ください。
- ピーズガードの特性上、原液を直接噴霧すると、まれに噴霧量が低下する場合があります。水道水を先に入れ噴霧動作させた状態からピーズガードを徐々に入れていくことで噴霧が安定しやすくなります。
- 本機はピーズガードの噴霧を目的に設計されております。ピーズガード以外の液剤を噴霧したことによる故障又は損害などに関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

長期間使用しない場合

- 「お手入れのしかた」⇒ p.14 に従ってお手入れをしたあと、タンクキャップを取り外し、水洗いした部品すべてを十分に乾かしてください。
- お買い上げ時の箱に入れるなど、高温多湿、直射日光を避けてゴミやホコリの少ない場所に保管してください。

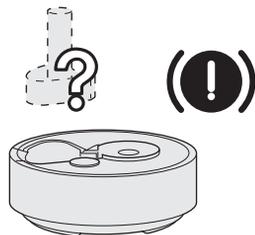


十分に乾燥させないまま収納しないでください。カビの発生や悪臭の原因になります。

安全機能について

ダクトホルダー検出

ダクトホルダーを取り付けずに動作を開始した場合や、運転中にダクトホルダーが取り外された場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケーターが点滅、警告音が5回鳴ります。



異常水位検出

水槽部の水が異常水位を越えた場合、運転が停止し、すべての操作パネルインジケーターが点滅、警告音が連続して鳴り続けます。

電源を切り、電源コード、上部パネル、ダクトホルダーを外して、水槽部の水を減らしてください。

「故障かな？」⇒ p.25 をご参照ください。



本体動作異常検出

本体内部でファンの回転異常やセンサーの異常等を検出すると運転が停止し、一部の操作パネルインジケーターが点滅、警告音が5回鳴ります。

「故障かな？」⇒ p.25 をご参照ください。



故障かな？

症状	確認事項	対処
電源が入らない	電源コードが本体およびコンセントに差し込まれていますか？	電源コードを本体およびコンセントにしっかりと差し込んでください。
タンク下部インジケーターが赤色に点滅する	タンクに水が入っていますか？	タンクに水を補給してください。
タンクに水が入っているのに、タンク下部インジケーターが赤色に点滅する	本体の水槽部に水が無い状態から開始していませんか？	加湿運転が可能な水位になるまでお待ちください。(最大で10分程度かかる場合があります。)
電源ボタンを押しても加湿しない	タンクの水が少ない状態で運転を開始していませんか？	タンクの水量が少ない場合は水を補給してください
警告音が5回鳴り、すべての操作パネルインジケーターが点滅する	ダクトホルダーが正しくセットされていますか？	ダクトホルダーが正しくセットされていない場合は、正しくセットしてください。
警告音が5回鳴り、一部の操作パネルインジケーターが点滅する	自己診断機能でエラー検出しています。どのインジケーターが点滅しているかご確認ください。(すべてのインジケーターが点滅している場合は「ダクトホルダー」をご確認ください。)	サポートセンターにご連絡の際は操作パネルインジケーターのどの部分が点滅しているかお伝えいただくことでトラブル解消の助けになることがあります。

症状	確認事項	対処
加湿量が少ない	<p>水槽部の水位が高くなりすぎていませんか？</p> <p>自動運転モードで運転していませんか？</p> <p>設置場所の温度が高すぎ(低すぎ)ませんか？</p> <p>霧化ユニットが汚れていませんか？</p> <p>ピースガードの濃度が高すぎませんか？</p>	<p>水槽部の水をすべて捨て、水の入ったタンクを再装着してお試しください。</p> <p>湿度が高い場合は加湿量が少なくなるように自動制御します。</p> <p>水温によって霧化量が変動することがありますが、不良ではありません。</p> <p>「お手入れのしかた」⇒ p.14 に従って霧化ユニットのお手入れしてください。</p> <p>ピースガードの濃度が高いと加湿量が少なくなることがあります。水道水で希釈することで霧化しやすくなります。</p>
加湿量が多い	<p>設置場所の温度が高すぎ(低すぎ)ませんか？</p>	<p>水温によって霧化量が変動することがありますが、不良ではありません。</p> <p>霧化量が多すぎる場合は間欠モードなどをご使用ください。</p>
お部屋が明るいのにタンク下部インジケータが暗くなる	<p>照度センサー部に物が覆われたりして減光機能が動作していませんか？</p>	<p>「減光機能」⇒ p.13 にある照度センサー部に物があれば取り除いてください。</p>

症状	確認事項	対処
ニオイがする。本体内の水槽部が汚れている	タンクに水をいれてから長期間経過していませんか？定期的なお手入れを実施していますか？	「お手入れのしかた」⇒ p.14 に従って定期的にお手入れしてください。
<p>本体の底部から水漏れする</p> <p>警報音が連続して鳴り続け、すべての操作パネルインジケーターが点滅する(異常水位検出)</p>	<p>お手入れ時にファン吹き出し口に誤って水が入りませんでしたか？</p> <p>純水や蒸留水を使用していますか？</p> <p>動作中にタンクの取り付け・取り外しをしていませんか？</p> <p>本体水槽部やタンク、フィルターにひび割れなどが入っていますか？</p>	<p>すぐに電源コードを抜き水槽内の水を捨ててください。その後、十分に乾燥させた上で、再度ご使用ください。</p> <p>水位検出が正常にできないためご使用になれません。</p> <p>水槽部の水位が変化し、まれにファン吹き出し口から入ることがあります。取り付け時はゆっくりとタンクを差し込んでください。</p> <p>本体に損傷が発生した場合はサービスセンターまでお問い合わせください。</p>

仕様

型名

PG-E620

適用床面積^{*1}

木造和室：17 m²(10 畳)

(連続モード強)

プレハブ洋室：27 m²(17 畳)

加湿量 [mL/h]^{*2}

運転モード

弱

中

強

間欠

20

40

初期 10 分間連続：600
10 分以降：80

連続

150

300

初期 2 時間：600
2 時間以降：400

消費電力 [W]

間欠

4

5

12

連続

19

26

41

運転音 [dBA]^{*3}

間欠

30

31

32

連続

34

35

39

外形寸法 [mm]

直径 約 270 × 高さ 約 855

質量 [kg]

約 4.3 (水を含まない)

タンク容量 [L]

約 2.3

電源コード長 [m]

約 2.0

付属品

取扱説明書、安全の手引き、保証書、電源コード、タンクキャップ、ピースガード(500mL)

消耗品

ピースガード 2.3L (PG-L2300)

※1 日本電機工業会規格 JEM11426 に基づく試験方法により算出。

※2 水道水のみ、水温が 20℃ の場合。室内の温度や湿度によって加湿量は変わります。

※3 加湿動作中における最大値となります。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品に関する最新情報
使い方・お手入れ・修理に関するご相談は

カドーサポートサイト

cado.com/support/



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00

土・日・祝、弊社休業日を除く

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

cado

取扱説明書

安全上のご注意

Deodorizing Sanitizer

PG-E 620

安全上のご注意

本書について

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。ご使用前に、この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

警告

禁止

■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■ 電源コードを破損させない。

ショートや断線して感電や火災の原因になります。

- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものをのせたりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源プラグを持たずに引き抜かない。
- 持ち運び時に電源コードを引っ張らない。

■ 定格電圧以外で使わない。

火災や感電の原因になります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。

たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因になります。

■ 分解、改造、修理しない。

火災や感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ 本体を水につけたり、丸洗いしない。

本体内部の基板などに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。

■ 吹き出しノズル、水槽部、本体のすき間などに指や金属物などの異物を入れない。

ケガ・感電・ショート・発火の原因になります。

■ お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害するおそれがあります。また、本体の破損や変形、割れによる水漏れの原因となります。

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れない。

感電のおそれがあります。

■ お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。

■ お子様は玩具として遊ばないよう注意する。

思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。

警告

指示

■ 電源プラグは、根元までしっかり差し込む。

差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグが傷んだり、差し込みがゆるいコンセントは使わない。

■ 電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。

ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

■ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、電源プラグを抜く。

不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。

■ 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用をただちに中止する。

電源コードを抜き、サポートセンターまでご相談ください。

注意

禁止

■ 本体の上に物を置いたり、乗ったりしない。

転倒により、破損・故障の原因になります。

■ タンクに水道水以外の水は入れない。

飲料用の水道水は抗菌処理がされているため、カビや雑菌が繁殖しにくく、噴霧に適しています。

入れてはいけない水：

純水、蒸留水、浄水器により浄化した水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、芳香剤、洗剤、アロマオイルを入れた水

■ ピーズガード*¹ 以外の除菌・消臭液は使用しない。

酸性タイプの製品をピースガードに混ぜると有害ガスが発生する危険があるため、併用・混合はしないでください。

*¹ 除菌・消臭剤ピースガードは株式会社ピースガード社の登録商標です。

■ 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が多い場所では使用しない。

磁気の影響で正常に動作しないことがあります。

■ タンクやダクトをはずしたまま使用しない。

水が噴き出し、周囲が濡れて損害が出るおそれがあります。

■ 凍結に注意する。

凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨ててください。

■ 本体を傾けない。

タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれるおそれがあります。

■ 本体をさかさまにしない。

ダクト、タンク、上部パネルなどが落下し、思わぬケガの原因となります。

■ タンクを本体にセットした後は、タンクの取り付け・取り外しをむやみに繰り返さない。

水があふれるおそれがあります。

■ 直射日光の当たる場所やエアコン、暖房器具の風の当たる場所には置かない。

本体の変形や変色、故障の原因になります。

注意

指示

■ 排水方向表示に従って水槽部の水を捨てる。

本体内部の基板などに水が入ると、ショートや故障の原因になります。

■ 本体のお手入れは週 1 回以上行う。

お手入れを行わずに使用し続けると、カビや雑菌が繁殖したり、汚れや水アカが付着することで加湿量の低下や、故障の原因になることがあります。

また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるので、取扱説明書の手順に従い、必ずお手入れをしてください。

■ 壁や水気を嫌うものから必ず 50cm 以上離して使用する。

霧がかかるとカビやシミ、変色の原因になります。また、電子機器等が故障するおそれがあります。

■ テレビやラジオなどの受信機器から 1 m 以上離す。

画像や音声などが乱れる原因になります。距離を離しても改善しない場合は電源コードを別のコンセントにつなぐことで改善することがあります。

■ 本体底部から水が漏れてきた場合はただちに電源コードを抜き、タンクおよび水槽部の水を捨てる。

本製品は万が一本体内部に水が入った場合、本体底部の排水口から外部に排水されるよう設計されています。

誤ってファン吹き出し口から水が入るなどの理由で、本体底部から水が漏れてきた場合は、十分に乾燥させた上で、再度正しい手順でご使用ください。

それでも改善しない場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

水漏れによる家財等への損害については本製品の保証の対象外となりますので、損害が予測される場所でご使用になる場合はトレーやシートなどを敷いてお使いください。

